

平成 16 年度 第 2 回 電気・電子・情報系専門部会 幹事・編集委員会 議事録

日時：平成 16 年 10 月 1 日（金）

場所：北陸職業能力開発大学校 応用課程実習棟（D 棟）3F 会議室

議題：

全体

1. 部会長挨拶
2. 新事務局体制
3. 今後の実践研究会活動について（予算減少による活動の変化）
4. その他

幹事会

5. 実践研究発表会の活性化にむけた取り組み（討論会に変わる活動について）
6. 分科会活動予定（CAD・CAM 分科会、EMC 分科会）
7. その他

編集委員会

5. 2004 年の活動予定
6. 実践ジャーナル広報担当の選出
7. その他

1. 財政問題 法人格をどうするかも含め、原点に戻って考えるよい機会ではないか？  
今後は、協会のために何が出来るか？会員のために何が出来るかを念頭に活動を進めていきたい。

2. 予算上の問題から常任幹事を関東圏に絞った。また、今後は E メール等の活用をさらにすすめていきたい。

幹事の担当について（常任幹事の補佐役）

分科会担当・・・後藤先生

広報担当・・・小林先生

HP 担当・・・玉井先生

庶務担当・・・中澤先生

出版担当・・・滝本先生（出版担当幹事：佐々木先生）

次回実践教育研究発表会運営委員担当者・・・未定（事務局・理事で決める）

3. 実践教育ジャーナルは年 4 回発行。そのうち 9 月号は実践研究発表会の予稿集として発行する。その他は電気・電子・情報（3 月号）、建築（6 月号）、機械（12 月号）

4. 版事業について 基礎問題集を機械系では11月出版予定。電気・電子・情報系では別に来年度に出版予定。

幹事会を発表会の前に実施するとどうしても遠方の方が出席できない。今後は、発表会の中で時間を調整して1時間程度おこなってはどうか？

実践教育ジャーナルの広告費については、編集委員会に担当者の選出を依頼している。

CAD・CAM分科会 滝本先生

EMC分科会 陣内先生

広報費の依頼、入金等の連絡は広報担当幹事の東京校 古井 英則先生と事務局に連絡すること。

#### 幹事会

5. 次回実践研究発表会ではテーマを決めて、研究会の中で討論会を実施してはどうか。

6. CAD・CAM分科会：10月号を区切りにしてサーキットクラブの方向性について今後考える。

EMC分科会：目標としては利益を考え、セミナーテキストの作成や有料のシンポジウムを計画していきたい。

今後は分科会活動をメインに系の活性化を図っていきたい。各地方ブロックで行われている討論会等へ電気系として参加してはどうか？

また、マイコン・コンピュータ関連の分科会を新規に発足できないか。

分科会を今後新規に発足等していくのであれば話し合いができる場を設けてほしい。

#### 編集委員会

7. 次回のジャーナル発行について

11月初頭：原稿依頼

1月初頭：原稿締め切り

1月中旬：入稿

3月発刊

8. 広告担当者

東京校 中村先生 (補佐 青森短大 佐々木先生)

作成者 中谷